

## 「ふれあい小さな美術館」での写真展に、どうぞ…(^\_^) (7/6)



### 永続的なボランティア活動には、頭が下がる(.\_.)

先日、自分の元職場に今も出入りしてくださってるボランティアの方が来宅。

何事かと思うと、元職場の筋ジスの青年が写真展を開くので、協賛で写真を貸して欲しいとのこと。

リタイヤ後、自分が撮った写真を厚かましく元職場の喫茶コーナーに何枚か展示してもらったことがあったので、ボランティアの方は、私の写真を思い出したよう。

我が家でも2、3枚写真を掛けて、時々最近撮したものと取り替えている。

てっきり馴染みの喫茶コーナーでのことと思い、「前の写真でもいいなら、お好きなように」と申し出に気軽にOKし、ストックしていた以前の？十枚の写真が入っているであろう箱を、中の写真を改めもせず渡した。

あれこれ話を聞いていると、あにはからんや、喫茶コーナーでなく、以前に当HP(「雑学BN」の随想等関係(IV)P、2006.01.08.「ふれあいと癒しの時空間を過ごさせていただいた」:参照)でも紹介した秋保温泉街の「ふれあい小さな美術館2Fの展示ギャラリーを借りての展示とか。

ごく普通のデジカメで撮った写真だけに、一般の方の目に触れると知り慌てふためいたが、とき既に遅し。

「なら、写真を見て適当なのがなければ展示しないでいいからね！ どうしてもというなら、1、2枚にして！」と注文をつけた。

7/5の地元紙夕刊の「仙台圏イベント情報:展覧会」の欄の中に、「写真サークル展一耀(かがや)き(25日まで、秋保町・ふれあい小さな美術館)」の記事が……。

この記事を見て、どの写真を1、2枚選んで展示したのかな？と、やはり気になり、「ふれあい小さな美術館」へ行ってきた。

筋ジス青年が主役だというのに、予想に反して自分の写真が十数枚も……、まいった！

秋保、二口方面に行った折は、もしよろしければ「ふれあい小さな美術館(左の写真:外観。上の写真:アンティーク調の雰囲気のある1Fの喫茶室:当HPへの写真掲載は、館長の了解済)に立ち寄って下さい。

そして、しばし喫茶しながら日頃との異時空間も味わってリフレッシュなさって下さい。

それにしても、会場交渉、会場設営等、ほぼ一人で準備したであろうこのボランティアの方には、頭が下がる。

青年は、自分の写真が一般の方に見ただけの機会を設けていただき、きっと喜んでいんだろうなあ～。

- [「雑学BN」](#)
- [「雑学・フォトアルバム」](#)

